

しおさいかわら版

発行所
小名浜まちづくり
市 民 会 議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
平成29年4月20日

変わりゆく小名浜

都市計画道路 平磐城線(通称:鹿島街道)

平成27年9月12日、鹿島街道は小名浜の街から真っ直ぐにアクアマリンへ繋がり、新たな景観に姿を変えました。

平成16年から開始された電線地中化工事は、来年3月末の完成に向けて着々と進み、4月現在、小名浜工区の歩道整備が行われ

ています。夏頃には日産サテイトからアクアマリンまでのすべての車道が4車線での供用を開始する予定です。

電柱がなくなることで、歩道幅(4m)の有効幅員が広がり、通行空間の安全性が確保され、自転車や歩行者が安全で快適に行き来

することができるようになります。

街と海を結ぶ鹿島街道は、景観形成の基本方針にもあるように、「小名浜のシンボルロード」の役割を担っています。夏のいわきおどり小名浜大会や、いわき花火大会開催時には、多くの観光客や市民が、心躍らせこの道を往來します。

来年夏のイオンモールオープン時には、このシンボルロードはどんな表情を見せてくれるのか、今から楽しみです。



【花畑工区】 全長 876.0m、幅 27.0m
【小名浜工区】 全長 313.0m、幅 29.25m

電線地中化の目的

- ①防災：災害時に電柱が倒壊し、電気や電話といったライフラインの寸断を防ぐ。
- ②景観：景観阻害要因となる電柱・電線をなくし、良好な景観の形成。

※花畑地区はいわき市の景観形成重点地区に指定されています

景観形成基本方針

- ・小名浜のシンボルロードを目指します
- ・海が身近に感じられる沿道景観づくりに努めます
- ・行き来するひとにやさしいまちづくりに努めます

3月全体会議

3月23日、まちづくりステーション小名浜において、3月全体会議が開催されました。冒頭、佐藤会長から汐風竹町通りの説明と、小名浜へのスタジアム誘致を目指し早期に活動を始めたいとの挨拶がありました。その後、汐風プロジェクト「人力戦艦!汐風澤風」のアニメーションを上映し、各委員会の年間事業報告に移りました。



初めに、パートナーシップ委員会の吉田副委員長から、しおさいかわら版の発行状況、フェイスブックやホームページの市民会議の活動状況を広報していることや、会員拡大の状況報告がありました。次に、歴史と文化づくり委員会の小野委員長より、小名浜学事始めや小名浜アルバムと通歴・概説の勉強会の開催、漁や習俗の記録等、伝えたい誇れるいわき醸成事業の「小名浜みなと学」の開催等が報告されました。次に、まちなか潮目委員会の上野委員長から、アクアマリンパークの賑わいづくり事業において、「汐風澤風プロジェクト」のイベント運営サポートや、まちなか事業では、カトリック小名浜教会においてコン

サートを開催、演奏時にプロジェクトシンクロナミックを最後に、鈴木副会長より、リノベーションまちづくりの説明があり、汐風竹町通りのコンセプトに合わせたテナントの誘致をはじめ、イオンモールを含んだまちづくりを考えていかなければならないとの説明があり、3月の全体会議を終了しました。

4月全体会議を開催します

4月25日午後6時30分より、まちなかステーション小名浜3階において、4月全体会議を開催します。今回はいわきFC様をお招きし、ご講演いただきます。会員の皆様はふるってご参加ください。会議内容など変更する場合がございますので詳しくは小名浜まちづくり市民会議(52-1275)までお問い合わせください。

「人力戦艦!汐風澤風」完成披露上映会

3月20日、小名浜潮目交流館で、小名浜まちづくり市民会議が福島ガイナックスに制作を依頼していた観光PRアニメーション「人力戦艦!汐風澤風」の完成披露上映会が開催されました。

アニメは、これまでかわら版でお伝えしていたように、戦後、防波堤として小名浜港に埋設された駆逐

艦・汐風と澤風がモチーフとなっており、競逐選手を目指す主人公が駆逐艦ロボットを人力で動かし、小名浜を襲う怪獣と戦うという内容。三崎公園、美食ホテルといったお馴染みの場所も登場します(かつてのグリーン劇場も...)。上映会では、市民会議の佐藤会長が挨拶し、アニメをきっかけとした小名浜の観光交流人口の拡大に期待を寄せました。作品上映後の興奮冷めやらぬ中、総監督を務めた福島ガイナックス

の浅尾代表の他、出演声優や制作スタッフによるトークショーも行われ、200人以上の来場者でいっぱいとなった会場は大いに盛り上がりました。



第2回 どんとやれ 大漁旗ノ 開催

平成29年5月4日(木)、いわき市まち未来創造支援事業の1つとして「第2回どんとやれ、大漁旗！」と銘打ったイベントが小名浜



小舟を浮かべる情景を創り出し、かつ海運や水産業で賑わった「港町小名浜」の文化をいわき市

東部会主催のもと開催されます。

このイベントは、「大漁旗」が漁業文化のシンボルであることから、長年親しまれている親水空間、小名川の岸辺に約200旗の大漁旗を掲げる(天頂展示)中

民の皆様にも再認識していただくことを目的にしています。併せて小名川河口付近の駐車場周辺を会場に、市内の高校生が取り組む郷土伝統芸能を披露する機会も設け、いわきの伝統と文化の継承を地域の人々に伝えると共に、漁業の衰退、原発事故による風評被害の一掃、観光交流人口の増加による地域経済振興と市民の交流を目的とする事業です。

小名浜マリブリッジ完成記念ウォーク

4月23日(日)13時より17時まで(最終入場16時)、完成したばかりの小名浜マリブリッジが、港湾道路から約950m、「歩行者」に解放されます(車両乗り入れ・人工島への立ち入りはできません)。解放区間を往復した場合の所要時間は、大人の方で30分ほど。移動支援はないので自力で歩行できる方、同行者の介助で移動できる方が対象となりますが、体力に合わせて、途中で折り返すこともできます。

事前申込不要・料金無料です。
お問合せは国交省小名浜港湾事務所(電話53-7100)まで。
※気象条件等により内容変更・中止となる場合があります。

小名浜学事始め

『磐城七浜捕鯨絵巻』

関ヶ原の合戦後、いわき地方の藩主は、譜代大名の鳥居家(12万石)、同じく内藤家(7万石)が治めます。延享4年(1747)以降は、井上家(6万石)、安藤家(5万石)となり、幕領小名浜(4万7千石)や笠間藩の分領ができました。捕鯨を藩の産業として奨励したのは内藤家。何故ならば、内藤家の前領地は千葉県佐貫(富津市周辺)と房総捕鯨の中心地だった勝山(鋸南町)でした。元和8年(1622)以降125年間の中で、

捕鯨は生業となり、磐城七浜捕鯨絵巻は、久之浜から小名浜までの磐城七浜にて捕鯨する巻と身分の高い人が捕鯨を見聞する巻の2巻があり、描かれた場面から浜の賑わいを感じます。



小名浜測候所が平成20年10月1日に無人化され、小名浜特別地域気象観測所に移行したため、生物季節観測の一部を、小名浜まちづくり市民会議といわき市内在任の測候所OBの方々の手で継続してま

さくら咲く



開花を確認致しました。市民会議の資料によると、小名浜におけるサクラの開花の平年値は4月6日、昨年平成28年の開花は3月31日で、今年は平年並み、昨年より6日遅い開花となりました。

いよいよ本大会の開催を数える3つのイベントで構成されています。そのイベントを進めるために会場の準備を司るのが「設営委員会」です。イベントを行うには、観客の安全を考慮し、導線を確保したりイベントそのものを運営する上で必要な備品を用意する必要があります。各イベントの委員会から要望される内容に応じた機器や機材を、ご協力いただき先から調達し、設置やその確認、撤収と、全体予算との兼ね合いを見つめながら対応する業務を行います。毎年、会場エリア周辺は大小を問わず変化しています。また、イベントの内容そのものも変化させて企画されるわけですが、その変化に合わせて必要な備品を準備します。常に必要なものが手配できるように年間を通して日常的な情報収集が必要委員会です。

小名浜まちづくり 市民会議とは...

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

市民会議では随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、友達申請 [いいね!](#) してね!

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員を募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんと一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか?

年会費 個人会員：3,000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは：いわき市小名浜字本町11-1(まちづくりステーション小名浜)
TEL: 52-1275 FAX: 52-1415
<http://www.onahama.jp/> E-mail: info@onahama.jp

